

# 自己点検・自己評価 報告書

## 令和4年度

評価対象期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

学校法人 赤門学院  
専門学校 赤門自動車整備大学校

# 令和4年度 自己評価表

## (1) 教育理念・目標

| 項目名   | 適切・・・4<br>やや不適切・・・2 | ほぼ適切・・・3<br>不適切・・・1 |
|---|---------------------|---------------------|
| 学校理念・目的・育成人材像は定められているか<br>(専門分野の特性が明確になっているか) |                     | 4                   |
| 学校における職業教育の特色は何か                              |                     | 4                   |
| 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか                  |                     | 3                   |
| 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか     |                     | 3                   |
| 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか  |                     | 3                   |

### [1. 課題]

教育理念と目標は明確に定められ取り組んでいると判断できる。自動車に関する知識・技術だけでなく、社会人としての自覚や自動車業界で活躍できる人材を育成するための実践教育やコミュニケーション力の向上を目指す取り組みも積極的に取り入れて実施されているが、指導成果が現れるまでに時間が必要な学生もいる現状がある。  
近年外国人留学生の入学が増えており、外国人が日本の企業で活躍するための技術教育や人材育成が必須となっているが、留学生の日本語力に差があるため指導側の工夫が必須となっており、指導側もさらなるレベルアップを目指して取り組んでいく必要がある。

### [2. 今後の改善方策]

掲げている教育理念・目標に向かって今後も学校と学生が一丸となり、統一して行っていくことが重要である。教職員の研修等を通じて認識の統一化や意識向上、教育レベルの向上を継続的に行っていくこととし、学生のコミュニケーション能力や協調性の向上を目指す教育カリキュラムの見直し、人間性豊かな人材育成を目指していく。外国人留学生については、留学生特有の事情を考慮した教育方針を別途取り組み、日本で活躍できる人材育成を行っていく。  
電気自動車や自動ブレーキなどの技術革新に対応できる人材を育成するため、教員の技術レベル向上に向けた取り組みも強化していくことが重要である。

### [3. 特記事項]

電気自動車技術の習得に特化した専門職大学「電動モビリティシステム専門職大学」を設立し、令和5年4月に開学することが決定している。

# 令和4年度 自己評価表

## (2) 学校運営

| 項目名                                      | 適切・・・4    | ほぼ適切・・・3 |
|--|-----------|----------|
|  | やや不適切・・・2 | 不適切・・・1  |
| 目的等に沿った運営方針が策定されているか                     |           | 3        |
| 運営方針に沿った事業計画が策定されているか                    |           | 3        |
| 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか |           | 3        |
| 人事、給与に関する規程等は整備されているか                    |           | 3        |
| 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか           |           | 3        |
| 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか          |           | 3        |
| 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか                 |           | 3        |
| 情報システム化等による業務の効率化が図られているか                |           | 3        |

### [1. 課題]

目的や運営については概ね策定され、組織及び担当業務についても明確になっているが、人員に対しての担当業務が増え業務が圧迫している。また、電子化による業務効率化やペーパーレス化については、申請書や会議資料等の紙への依存度が高く、データの取り纏め等で時間が掛かることも多い。

### [2. 今後の改善方策]

パソコンのハード及びソフト面の充実化、ネットワークの安定化及びセキュリティの強化を図り、各データベースを共有することで、作業効率化及びペーパーレス化を進める。また、各帳票類やフォーマットを統一、共有して作業の効率化を進める。  
教職員全員のスキルアップを図り、各担当業務を他職員がフォローしながら作業を進められる環境を作っていく。

### [3. 特記事項]

今後発生が予想される、北海道・三陸沖後発地震等への対策も検討していく必要がある。

# 令和4年度 自己評価表

## (3) 教育活動

| 項目名   | 適切・・・4<br>やや不適切・・・2 | ほぼ適切・・・3<br>不適切・・・1 |
|---|---------------------|---------------------|
| 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか                             |                     | 3                   |
| 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか |                     | 3                   |
| 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか                                     |                     | 3                   |
| キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか          |                     | 3                   |
| 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか           |                     | 3                   |
| 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか     |                     | 3                   |
| 授業評価の実施・評価体制はあるか  |                     | 3                   |
| 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか                                 |                     | 3                   |
| 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか                              |                     | 4                   |
| 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                        |                     | 4⇒3                 |
| 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか                     |                     | 2                   |
| 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントがおこなわれているか    |                     | 3                   |
| 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか   |                     | 3                   |
| 職員の能力開発のための研修等が行われているか                                      |                     | 3                   |

### [1. 課題]

学生の社会人に必要な人間力（コミュニケーション能力含む）と、企業が求める人材像、知識、技術等を習得させる。  
教職員の人財確保と業務内容の分離化、教員としての意識向上と各自のスキルアップが必要と考える。

### [2. 今後の改善方策]

専門知識、基本技術の確実な習得や、実習授業などに、学生自身が達成感等を感じ取れる内容を取り入れるなど、学生が自信を持った言動を行える事を目指す。  
早急な人財確保と明確な業務分担。教員自信が常に問題意識を持ち、改善を重ねる為にミーティングや研修を細目に実行して行く。

### [3. 特記事項]

|  |
|--|
|  |
|--|

# 令和4年度 自己評価表

## (4) 学習成果

| 項目名                                   | 適切・・・4<br>やや不適切・・・2 | ほぼ適切・・・3<br>不適切・・・1 |
|---------------------------------------|---------------------|---------------------|
| 就職率の向上が図られているか                        | 4                   |                     |
| 資格取得率の向上が図られているか                      | 4⇒3                 |                     |
| 退学率の低減が図られているか                        | 3                   |                     |
| 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか            | 3                   |                     |
| 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 3                   |                     |

### [1. 課題]

就職率は高水準を維持しており、個別の就職指導・相談や進路指導時間による一般常識問題の実施、面接試験対策として模擬面接を実施している。資格取得率は高く、国家試験においても合格率100%を目指した指導方法を行っており、昨年度は日本人100%を達成、留学生の合格率も高い。退学率に関しては退学者を減らす為の職員研修会等や保護者との連携、面談の実施を行い学内対応はしているが、進路変更を含め、退学、休学者が増えた現状である為、更なる授業の質の向上やサポートの強化を図る必要がある。

### [2. 今後の改善方策]

就職率に関しては、高水準を維持しており、早期からの個別指導、面接練習の実施など就職試験対策を実施している。留学生においては、必要とされる人材の育成と日本企業への適応を高める事を意識した教育を行っていく。  
資格取得率に関しては、留学生の日本語能力底上げを継続し行い、国家資格取得率100%を維持していく為の授業の構築を図る。  
卒業後の把握については、各企業への卒業生実態についての調査依頼を実施し幅広い世代の卒業生の社会的な評価や活躍を情報化し業界内において、本校を卒業する事によるアドバンテージを確率していく。

### [3. 特記事項]

|  |
|--|
|  |
|--|

# 令和4年度 自己評価表

## (5) 学生支援

| 項目名                                     | 適切・・・4<br>やや不適切・・・2 | ほぼ適切・・・3<br>不適切・・・1 |
|---|---------------------|---------------------|
| 進路・就職に関する支援体制は整備されているか                  | 4⇒3                 |                     |
| 学生相談に関する体制は整備されているか                     | 3                   |                     |
| 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか                 | 3                   |                     |
| 学生の健康管理を担う組織体制はあるか                      | 4                   |                     |
| 課外活動に対する支援体制は整備されているか                   | 3                   |                     |
| 学生の生活環境への支援は行われているか                     | 3                   |                     |
| 保護者と適切に連携しているか                          | 3                   |                     |
| 卒業生への支援体制はあるか                           | 3                   |                     |
| 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか               | 3                   |                     |
| 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 3                   |                     |

### [1. 課題]

学生に対する経済的支援対策として奨学金制度があるが、制度として有効に活用されているか。

将来的に、令和5年4月の開学する電動モビリティシステム専門職大学への推薦入学制度を作ることが出来れば、新たな進路として自動車業界に貢献できる人材育成につながるのではないかと。但し、教員の方々の負担が増えることも考慮しなければならない。

学生支援では担任の教員が窓口になる事が多く負担が大きくなりがちと思われる。教員間で支援の内容を平均化すると共に支援の質を落とさずに教員の負担を分散することが課題と思う。

体調管理の徹底と授業内容の重要性を認識させる事。

就職の支援体制について、宮城県から東北6県を優先して活動をするという方針が出されたことによって、毎月行われていた県外の説明会が突如なくなったことによる混乱と不信感を招く結果となっている。

学生相談の窓口が設置はされているが、利用者はほとんどない。

### [2. 今後の改善方策]

母国からの支援を受けられない留学生への経済的な問題として、融資の制度化を検討すべき。

人員確保と引き続き分担分業の明確化を行う。

学生の本分の重要性を理解させ、必ず必要となる技術の習得に勉めさせる。

来年度からは、宮城県、東北優先であればそれを明確にし、学生には東北以外の求人票は早期に見せるべきではないし、見学会や説明会もすべきではないと考える。

学校側で積極的に、利用(相談)しやすい環境をつくる必要がある。

### [3. 特記事項]

現状、精神疾患を患った生徒に対する相談・支援の窓口がない。今後、入学後に学習障害、発達生涯等と判断出来る学生に対するカウンセリングなどによる支援体制を検討する必要があると思う。

# 令和4年度 自己評価表

## (6) 教育環境

| 項目名  | 適切・・・4<br>やや不適切・・・2 | ほぼ適切・・・3<br>不適切・・・1 |
|--|---------------------|---------------------|
| 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか           | 3⇒2                 |                     |
| 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 3                   |                     |
| 防災に対する体制は整備されているか                          | 3                   |                     |

### [1. 課題]

自動車メーカーや販売店の寄贈等により、実習車両、エンジンやトランスミッション等の教材も新しくなってきたが、校舎及び実習場によっては、設備、教材等の老朽化が進んでいる。また、1級科のインターンシップは計画通り実施されているが、2級科1年生のインターンシップは販売店からの計画により実施される場合のみ。

### [2. 今後の改善方策]

単体教材については、老朽化や使用による消耗品である為、定期的な入れ替えが必要である。2級科のインターンシップについては、令和4年度の夏に実施予定で計画し、販売店から受け入れの確認は取れていたため、令和5年度には実施できる予定である。

### [3. 特記事項]

防災訓練は入学後の早い段階で4月14日に実施した。  
特定整備の認証を取得。

# 令和4年度 自己評価表

## (7) 学生の受入れ募集

| 項目名                         | 適切・・・4<br>やや不適切・・・2 | ほぼ適切・・・3<br>不適切・・・1 |
|-----------------------------|---------------------|---------------------|
| 学生募集活動は、適正に行われているか          |                     | 3                   |
| 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか |                     | 3                   |
| 学納金は妥当なものとなっているか            |                     | 3                   |

### [1. 課題]

外国人留学生に関しては、コロナ禍による留学生の入国の減少による影響があった。日本人入学生に関しては、自動車整備士志望者が減少しつつある部分も含めて、如何にして確保していくかが継続して大きな課題となっている。

### [2. 今後の改善方策]

学校見学会やホームページの充実、SNS等も有効利用し、より多くの高校生・中学生に情報を提供する。また、中学校や高校との連携を深めるような活動を行う事も必要。在学生の満足度を高め、校内進学を推進し内側からの良い口コミや紹介を広げていく事が重要。自動車整備志望者が減少する中、自動車業界に対して魅力を感じてもらえるような情報の提供。

### [3. 特記事項]

|  |
|--|
|  |
|--|



# 令和4年度 自己評価表

## (8) 財務

| 項目名                      | 適切・・・4<br>やや不適切・・・2 | ほぼ適切・・・3<br>不適切・・・1 |
|--------------------------|---------------------|---------------------|
| 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか |                     | 3                   |
| 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか |                     | 3                   |
| 財務について会計監査が適正に行われているか    |                     | 3                   |
| 財務情報公開の体制整備はできているか       |                     | 3                   |

### [1. 課題]

当法人の財務基盤は現状安定しているが、令和5年度から専門職大学が開学するにあたり、中長期的に財務基盤の安定を維持していけるかが課題である。また前年度から引き続き入学生の募集活動に力を入れ、授業料等の学生納付金収入の確保が重要である。

### [2. 今後の改善方策]

設置する2つの学校の安定した運営を行なっていく事を目的とし、各学校の事業計画と予算・収支計画の作成、その適正な執行と確認のために、公認会計士からの指導、アドバイスを受ける体制を整備する。

### [3. 特記事項]

|  |
|--|
|  |
|--|

# 令和4年度 自己評価表

## (9) 法令等の遵守

| 項目名                           | 適切・・・4<br>やや不適切・・・2 | ほぼ適切・・・3<br>不適切・・・1 |
|-------------------------------|---------------------|---------------------|
| 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 3⇒4                 |                     |
| 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか    | 4⇒3                 |                     |
| 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか         | 3                   |                     |
| 自己評価結果を公開しているか                | 3⇒4                 |                     |

### [1. 課題]

個人情報に関する教職員の意識のさらなる向上。

### [2. 今後の改善方策]

問題点に関する改善方法の確認と共有。

### [3. 特記事項]

# 令和4年度 自己評価表

## (10) 社会貢献・地域貢献

| 項目名   | 適切・・・4    ほぼ適切・・・3<br>やや不適切・・・2    不適切・・・1 |
|---|--|
| 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか             | 3  |
| 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか                      | 3⇒2  |
| 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 3  |

### [1. 課題]

テストコースを貸し出していることの周知。  
職場体験等はコロナ禍において受け入れが難しかった。

### [2. 今後の改善方策]

学院祭やテストコース貸し出しの宣伝。

### [3. 特記事項]

|  |
|--|
|  |
|--|